

3年 音楽科 課題 NO.7 ♪ 歌唱 (合唱) ♪

3年〔 〕組〔 〕番 氏名〔 〕

*楽譜に書かれている音楽の言葉や演奏形態・指揮などを知り、歌唱授業(合唱)での表現活動の工夫に生かせるように学習しましょう。 【関心・意欲・態度】【音楽表現の技能】

♪ 歌唱の形態について【 】に当てはまる数字や言葉を書きましょう。

注【 】は同じ言葉が入ります。(23上P18やインターネットで調べましょう) 【関心・意欲・態度】

斉唱 … 英語では【 (unison) 】と言い、【 】の人が同じ【 】を歌う形態。

独唱 … 【 】名による歌唱の形態。英語では【 (solo) 】と言う。

重唱 … いくつかの【 (part) 】を各【 】名ずつ歌う形態。
英語では、二重唱を【 (duet) 】、三重唱を【 (trio) 】、
四重唱を【 (quartet) 】と言う。

合唱 … 英語では【 (chorus) 】と言い、【 】の人が【 】のパートに分かれて歌う形態。男声だけでは【 】、女声だけでは【 】、男声と女声による合唱を【 】と言う。

*【パート名】、《合唱形態》を書き、ピアノ伴奏の有無に○を書きましょう。

【音楽表現の技能】

「花」(23下P4) ⇒ 《 》合唱・ピアノ伴奏 ⇒ [有 ・ 無]

女声二部合唱の場合の高音部は【 】低音部は【 】

男声二部合唱の場合の高音部は【 】低音部は【 】

高音部 →

低音部 →

「風の中の青春」(23下P10) ⇒ 《 》合唱・ピアノ伴奏 ⇒ [有 ・ 無]

【 】 →

【 】 →

「ふるさと」(23下P54) ⇒ 《 》合唱・ピアノ伴奏 ⇒ [有 ・ 無]

【 】 →

【 】 →

*【 】で歌うこと全般を指す言葉として使われる【 (a capella) 】は合唱の原点と言われ、もともとは礼拝堂で演奏される音楽のことを意味しました。

イタリア語で「cappella」英語で「chapel」

♪♪ 拍子について《 》 [] にあてはまる数字を書きましょう。

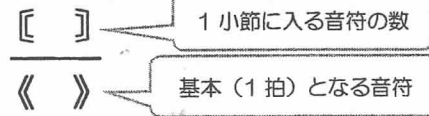
【音楽表現の技能】

「花」(23下P4) の拍子は《 》分の [] 拍子

「風の中の青春」(23下P10) の拍子は《 》分の [] 拍子

「ふるさと」(23下P54) の拍子は《 》分の [] 拍子

分数の形



確認

「花」「風の中の青春」「ふるさと」は基本(1拍)となる音符、【 』（♪）】です。

♪♪♪ 指揮について

【 】あてはまる言葉を書きましょう。(音楽1P52～53/23上P54～55/23下P52～53を参考にしましょう)

*指揮は、曲の【 】を示したり、【 】や終わりのタイミングを合わせたりするなど、アンサンブルを整えるために必要なもの。さらに、音楽を豊かに表現できるように、演奏する曲の【 】や表情を演奏者に伝えるという大切な役割も担っている。

*音楽を豊かに表現するためには【 】を有効に使うとよい。左手は、【 】と左右対称の動きをしてもよいが、できれば独立させ、【 】の入るタイミングを指示したり、【 】の変化や音の表情を示したりする。

左手を有効に使うことで演奏者にとってより分かりやすい指揮になる。

*曲名と指揮の基本的な形を線で結ぼう

「花」 「風の中の青春」 「ふるさと」

● ● ●

● ● ●

確認

曲の始まる直前の拍を予備拍といい、その振り方によって出だしの【 】を合わせることができる。予備拍の振り方によって、曲の速度が決まります。速度をしっかりと示したいときは前の小節(弱起の場合はその小節)の1拍目から振り始めてもよい。

まとめ 楽譜や上記の学習を振り返りながら【 】にあてはまる数字を書きましょう。

「花」は【 】拍目から歌い始めるので、【 】拍目から振り始める。

「ふるさと」は1拍目から歌い始めるので【 】拍目から振り始める。

「風の中の青春」は【 】拍目から歌い始めるので【 】拍目から振り始める。

または、その小節の【 】拍目から振り始めてもよい。

3年〔 〕組〔 〕番 氏名〔 〕